

くらしの中に 図書館を

～市民に身近な図書館の先駆け・日野～



2020年8月 日野市立図書館

もくじ

- 昔の「図書館」といえば……
- 昔の児童サービス
- 図書館サービスを変えた立役者
- 市民のための図書館へ
- 移動図書館ひまわり号の誕生
- はじまった図書館サービス
- 利用者の増加
- 図書館員が取り組んだこと
- 「動かない図書館」の開館
- 現在の日野市立図書館
- そのほかご案内



日野市立図書館の
マスコットキャラクター
の ら



昔は「図書館」といえば……

- **戦前**(1920年代後半～終戦)

入館や貸出は**有料**

思想善導のための図書館

国策に沿わない図書の**検閲**・閲覧禁止措置

- **戦後の改革期**(終戦～1950年代)

図書館のあり方について議論

市民に身近なサービスの萌芽(高知市民図書館)

読書会に警察が干渉する事件もまだ起きた



図書館 = 市民を「教育する」機関
受験生の勉強場所(席貸し)

昔の児童サービス

- **子どもが使えない図書館**

児童書が図書館に無い

高校生以下は入れない図書館も

- **児童サービスの軽視**

大人(一部の知識人)へのサービス



子どもはサービスの対象として
ほとんど意識されなかった

図書館サービスを変えた立役者

- **有山崧さん(1911～1969年)**

東京都日野市出身

日本の図書館行政に尽力

1949年 日本図書館協会事務局長

1965年 日野市長



- **前川恒雄さん(1930～2020年)**

石川県出身

1960年 日本図書館協会職員

1963年 イギリスの市立図書館で研修

1965年 日野市立図書館長



市民のための図書館に転換・発展へ

市民のための図書館へ

- 「中小レポート」の発行

『中小都市における公共図書館の運営』 日本図書館協会／編
1963.3 日本図書館協会

- 公共図書館の役割・運営基準を示す

- 資料提供が本質的・基本的・核心的な機能

ひとりひとりの自由な思考と判断の基となる
誰に対しても効果的にかつ無料で資料を提供
読書への興味を拡大し、資料要求を増大化

- 中小公共図書館こそが公共図書館

市民が生活するところにある図書館

都道府県立など大きい図書館は中小図書館の
後ろ盾として必要



実現は日野市立図書館の開設を待った

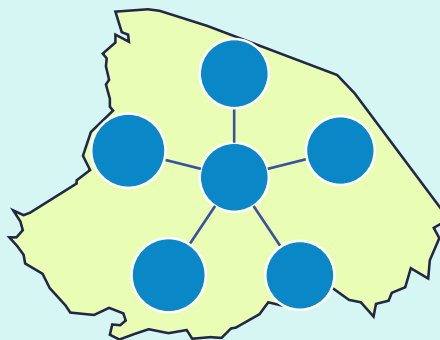
移動図書館ひまわり号が誕生

・日野市立図書館が目指したこと



貸出を重視

最も基礎的な
サービス



**市内全域に
サービス網**をつくる

移動図書館や分館は
1つの組織がサービスを
提供するための枝先



**新鮮で豊富な
資料**の用意

図書館にとって
最も重要な要素

実現のため、1台の移動図書館からスタート

- ・ まず図書館とは何かを市民に分かってもらう
- ・ 重要な貸出サービスに徹する

はじまった図書館サービス

- 1965年9月スタート

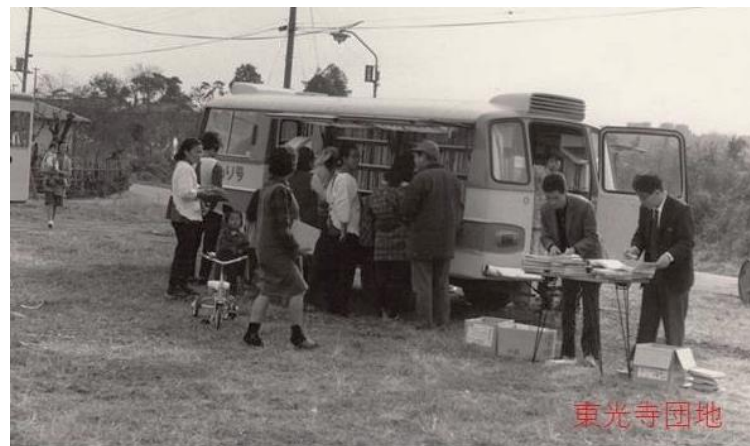
日野を回るので「ひまわり号」と命名
市内37ヶ所の巡回開始

- 当時の巡回の様子

利用は無料で誰でも借りられると呼びかけながら巡回
来た人からお金や印鑑は必要ないのか聞かれた



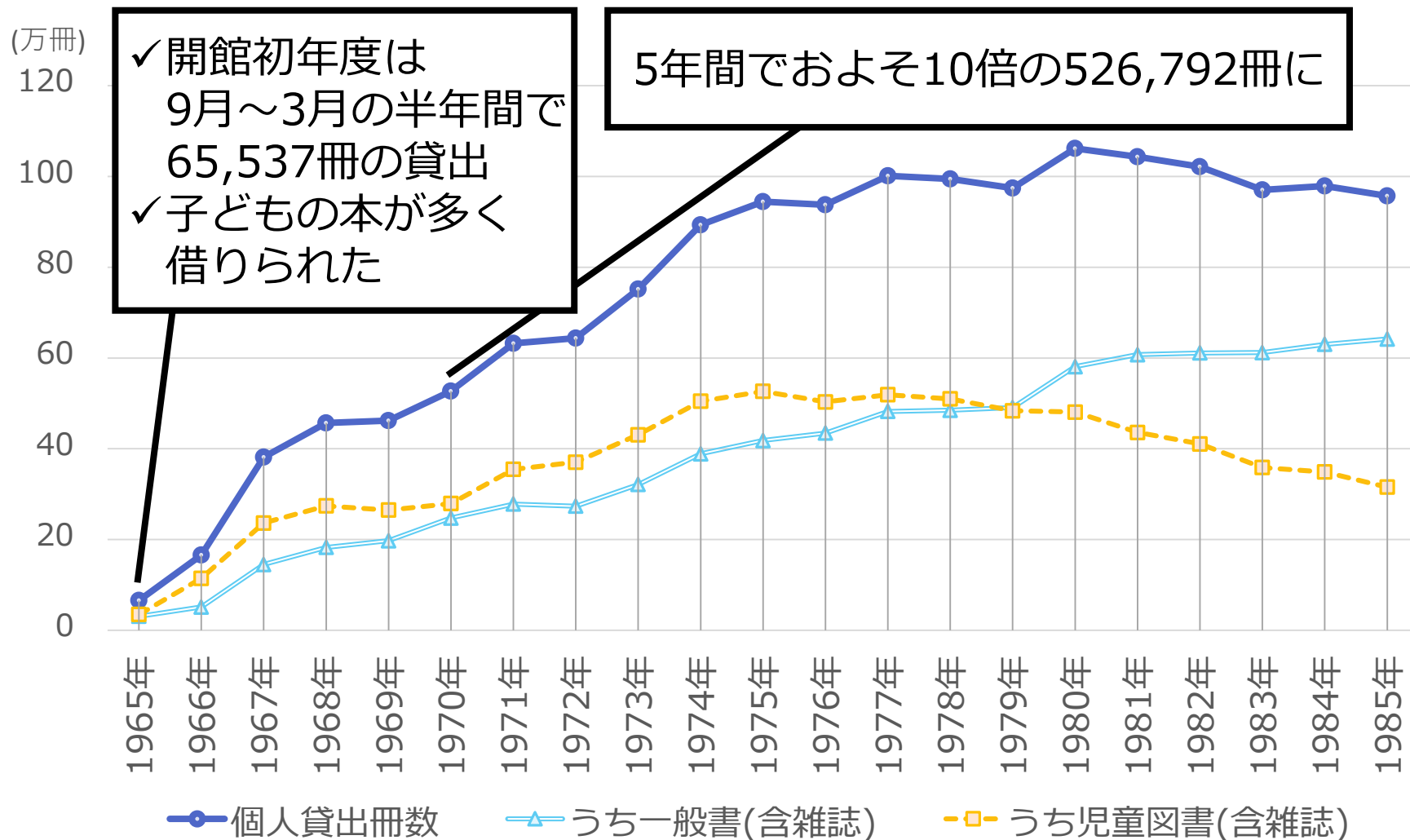
初代ひまわり号



東光寺団地での貸出

利用の増加

• 1965年～1985年の貸出冊数



図書館員が取り組んだこと

「いつでも、どこでも、
だれにでも、なんでも」

- **日本初のリクエスト・サービス**

図書館にない本でも、市民が求める本を用意

- **利用者への声かけ**

本の相談ができる関係へ

- **質の高い蔵書を用意**

たくさん・新鮮・軽重さまざまな本
子ども向けの本も用意



市民に身近な市民のための図書館へ

「動かない図書館」の開館①

- **利用者の増加**

「動かない図書館がほしい」との要望

- **開館**

1966年 6月 高幡図書館

8月 多摩平児童図書館

都電を改装した「電車図書館」

1967年 7月 福祉センター図書館

1969年 7月 社会教育センター図書館

1971年 4月 平山児童図書館

多摩平児童図書館新館

1972年 4月 百草台児童図書館



高幡図書館(1966)



多摩平児童図書館(1966)



平山児童図書館(1971)

「動かない図書館」の開館②

1973年 4月 中央図書館
レファレンスサービスの
開始

10月 障がい者サービスの開始
(対面朗読)

1977年 12月 市政図書室
地域・行政資料サービスが
本格的に開始



中央図書館(1973)

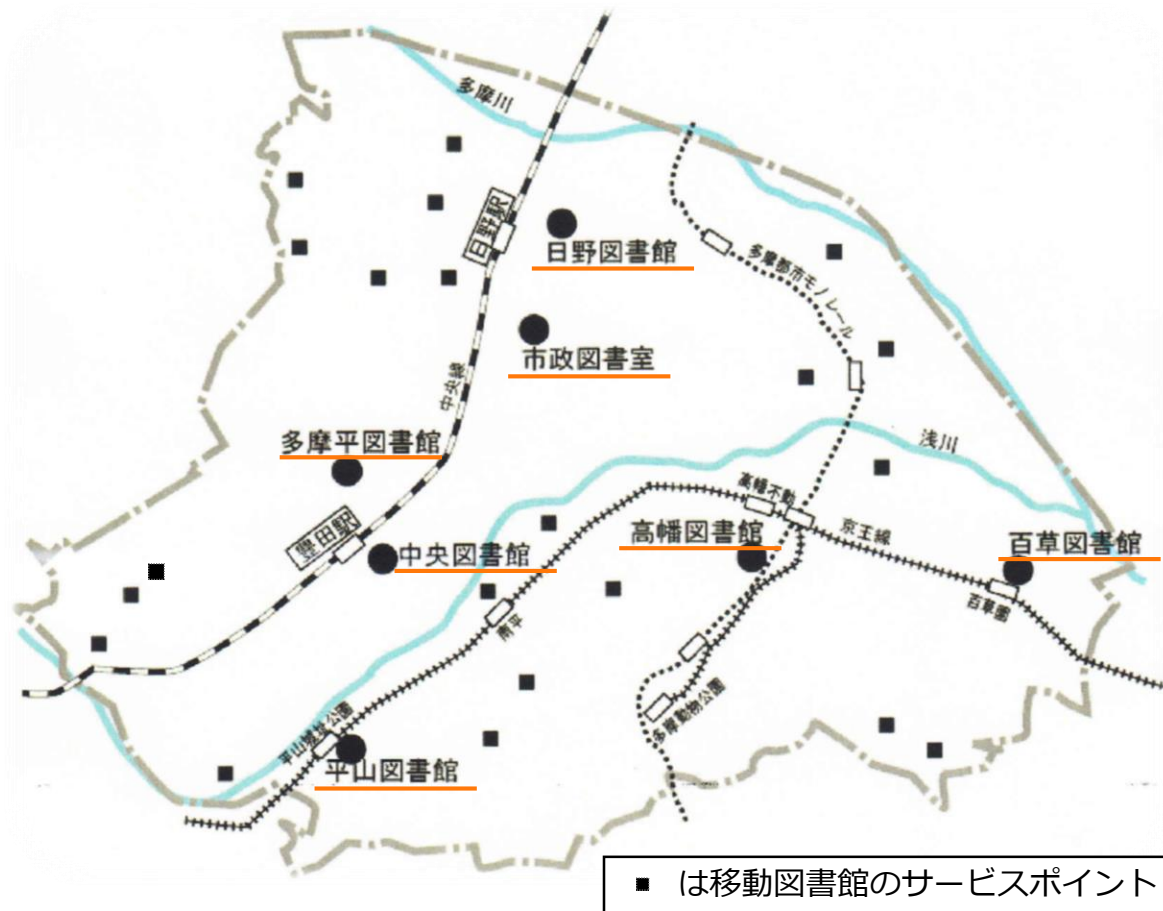


市政図書室(1977)

市民の要望をうけて
次々と建物の図書館が誕生

現在の日野市立図書館

- 中央図書館
- 高幡図書館
- 日野図書館
- 多摩平図書館
- 平山図書館
- 百草図書館
- 市政図書室
- ひまわり号



7か所と1台(21のサービスポイント)

おすすめの本・サイト①

- 『移動図書館ひまわり号』

前川恒雄／著 2016.7 夏葉社

当時の図書館を取り巻く環境や、前川さんたちの苦悩と努力がリアルに伝わり、引き込まれる一冊。

前川さんから見た当時の日野の様子も記されており、図書館のことに限らず興味深い内容となっています。

- 『ふたごのでんしゃ』

渡辺茂男／作 堀内誠一／絵 1969.12 あかね書房

小学校低学年くらい向けの読みものです。路面電車の「うしわか」と「べんけい」が古くなって廃止されるときに、市長の意向で電車が図書館に生まれ変わります。

日野市の電車図書館がモデルになりました。

おすすめの本・サイト②

- ・日野市立図書館HP「図書館のあゆみ」

<https://www.lib.city.hino.lg.jp/library/ayumi.html>

昔のひまわり号や開館当時の図書館など、豊富な写真とともに日野市立図書館のあゆみを見ることができます。

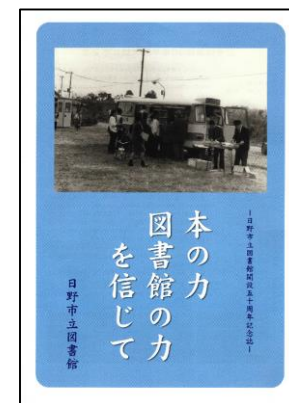
「移動図書館いまむかし」もおすすめです。

- ・『本の力図書館の力を信じて：日野市立図書館開設五十周年記念誌』

日野市立図書館／編 2016.2 日野市立図書館

日野市立図書館が50周年を迎えた際に発行された記念誌です。いつどのようなサービスが開始されたか、図書館のあゆみや変遷が詳細に書かれています。

貸出カードのデザインや、図書館で使っている機械の移り変わりも見ることができます。



参考資料

- 小川徹, 山口源治郎編. 図書館史: 近代日本篇. 補訂版, 教育史料出版会, 2003, 230p.
- 汐崎順子. 日本の公立図書館の発展期と児童サービス: 1963年から1970年を中心に. Library and Information Science. 2009, no. 62, p. 81-110,
http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000062-0081, (参照 2020-07-11).
- 日本図書館協会編. 中小都市における公共図書館の運営. 復刻版, 日本図書館協会, 1973, 217p.
- 日本図書館協会編. 市民の図書館. 増補版, 日本図書館協会, 1976, 168p.
- 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善, 2013, 284p.
- 日野市立図書館. 業務報告: 昭和40・41年度. 日野市立図書館, 1967, 104p.
- 前川恒雄著. 移動図書館ひまわり号. 夏葉社, 2016, 253p.

レファレンスサービスのご案内

・資料や情報を探すお手伝いをするサービス

例：「ヒノクジラについて知りたい」

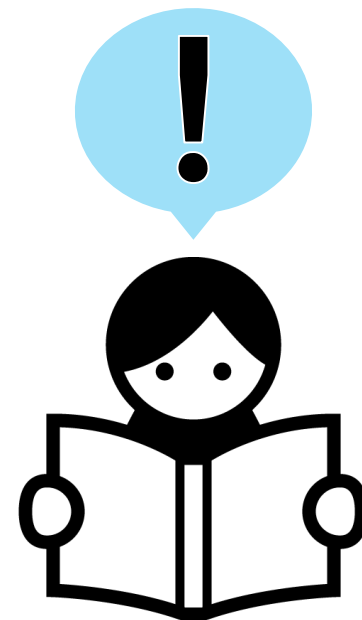
「日野市内のサークルがわかるものがあるか」

「平山陸稲について知りたい」

「日野市の方言を知りたい」 など

⇒お調べのことについて載っている
資料などをご紹介します！

ご相談お待ちしております！



ちなみに、例で挙げた質問は図書館ホームページに回答が載っています
(<https://www.lib.city.hino.lg.jp/hinocity/reference-example/index.html>)